

『そぞろ歩きで再発見！』

地域の魅力！

ふれあい大学・ことぶき学級

10月12日に保健福祉センターなわで、中山公民館「ふれあい大学」と名和公民館「ことぶき学級」の二つの高齢者学級が、合同で講演会を開催しました。

鳥取県西部をそぞろ歩きしながら地域の魅力を紹介する番組でお馴染みの中海テレビアナウンサー三浦健吾さんから、8年前に放送された御来屋のまちと今のまちの姿を見比べながら、当時の楽しいエピソードを交えつつ、軽妙にお話していただきました。

昔の映像からは、懐かしい人々が登場する場面もあり、会場は大きな笑い声と深いため息に包まれていました。

三浦さんは、時代の流れと共にすたれゆく地域の文化や伝統風習を映像として記録していくことや、番組を通じて、地域の魅力を再発見することを目指して『出会い、ふれあ



い、そぞろ歩き』を、これからも継続していきたいと語られました。

残念ながら、中山地区の映像を見ることはできませんでしたが、普段何気なく見ているテレビ番組には、制作者の熱い想いや様々な工夫が形となっていることを知るとともに、三浦さんの人柄にも触れた温かい講演会となりました。

おおきくなあれ！

中山みどりの森保育園

10月14日に中山みどりの森保育園の年長児18人が、逢坂港でキジハタの稚魚2,500匹を海に放流しました。

これは、日本釣振興会鳥取支部が魚資源の保護と環境美化などを目的に行っている事業で、4年前にも逢坂港で行っており、今回が2回目です。

稚魚の体長は5センチメートルくらいで、園児たちは稚魚が弱らないように、優しく岸壁から放流していました。



▶「大きくなって戻ってきてね」

大山町のものづくりを体感

第4回大山学講座「企業見学V」

中山公民館

10月17日に第4回大山学講座として、町内3か所の企業見学を行いました。

今年度で5回目を迎えた企業見学は定員いっぱい参加者があり、今年は大山プレカット協業組合、サングレス

株式会社、株式会社丸昌商店アスマート鳥取工場を見学しました。

それぞれの企業では普段、なかなか見ることでできない工場内部を案内していただき、大山町におけるものづくりの最前線の様子を知ることができました。

オートメーション化された機械から作り出される精巧な製品に、参加者は大変興味深い様子で説明に熱心に耳を傾けたり、質問したりしていました。

また、移動の途中に「七鳥ロード」と言われる汗入農免農道を通って七鳥橋の一つ「大鷹橋」からの秋の大山や日本海の景色も楽しみました。

参加者からも「初めて知ったことがたくさんあった。来年も企業見学を実施してほしい」との声が聞かれ、学びの多い一日となりました。



▲金属加工の工程の説明を聴く皆さん



▲マット用糸製造の説明を聴く皆さん